

川越中学校 平成24年1月下旬実施 教育活動アンケート

※数字は、各項目において、「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた人の割合です。

大幅な向上

小幅な向上

やや向上

現状維持

やや低下

小幅な低下

大幅な低下

生徒		6月比	保護者		6月比	教職員		6月比
①	あなたは、学習にしっかり取り組んでいますか。	78.9 %	①	お子様は学習にしっかり取り組んでいますか。	61.7 %	①	学習にしっかり取り組めるようにしていますか	97.1 %
②	あなたは、学校で仲間と協力できますか	94.6 %	②	お子様は何事にも協力して取り組んでいますか	77.5 %	②	仲間と協力できるように指導していますか	94.6 %
③	あなたは、何事にも最後までしっかりと取り組んでいますか。	88.5 %	③	お子様は何事にも最後までしっかりと取り組んでいますか	70.2 %	③	何事にも最後までしっかりと取り組めるようにしていますか	94.6 %
④	あなたは、元気よく明るくあいさつができますか。	87.6 %	④	お子様は元気に明るくあいさつができますか	80.8 %	④	元気よく明るくあいさつができるようにしていますか	89.2 %
⑤	先生は、勉強をわかりやすく、ていねいに教えてくれますか。	84.1 %	⑤	先生はわかりやすく丁寧な授業を行っていると思いますか	71.8 %	⑤	授業時数の確保と、わかりやすい授業の実践に努めていますか。	100.0 %
⑥	TTや少人数教育のときの授業はわかりやすいですか。	82.7 %	⑥	お子様はTTや少人数授業のときの授業はわかりやすいと言っていますか	68.8 %	⑥	TTや少人数指導において工夫ある授業を展開していますか。	87.9 %
⑦	あなたは、自然教室・職場体験・修学旅行などの学習に意欲的に取り組みましたか。	94.9 %	⑦	お子様は自然教室、職場体験、修学旅行などの学習に意欲的に取り組みましたか	95.8 %	⑦	生徒の個性や特性に応じた地域学習や体験学習を展開することができましたか。	82.4 %
⑧	あなたは、学校の成績はテストの点数だけでなく、学習活動全体で評価されていると思いますか。	74.3 %	⑧	お子様の学習の評価はテストの点数だけでなく、いろいろな面から評価されていると思いますか	85.5 %	⑧	指導と評価の一体化をはかり、生徒のやる気を引き出すことができましたか。	96.9 %
⑨	あなたは、学校行事や学級活動など学習以外の活動もしっかり取り組んでいますか。	89.5 %	⑨	お子様は、学校行事や学級活動など学習以外の活動もしっかり取り組んでいると思いますか	91.1 %	⑨	学校行事、学級活動など学習面以外の活動もしっかり指導していますか。	91.9 %
⑩	学級は、みんなが協力するまとまりのあるクラスになっていますか。	84.5 %	⑩	お子様の所属するクラスはみんなが協力するまとまりのあるクラスとなっていますか。	82.8 %	⑩	生徒同士が協力してまとまりのある学級集団づくりに取り組んでいますか。	89.2 %
⑪	先生は、相談にのってくれますか。	76.5 %	⑪	先生は子どもの相談にのってくれていると思いますか	73.4 %	⑪	教育相談などの機会を利用して、生徒理解に努めていますか。	94.3 %
⑫	あなたは、道徳の時間や人権学習の授業にしっかりと取り組んでいますか。	88.2 %	⑫	学校は、道徳や人権学習にしっかりと取り組んでいますか	76.6 %	⑫	道徳の時間を計画的に実施し、人権教育を推進していますか。	88.9 %
⑬	あなたは、上級生や下級生と楽しく部活動に参加していますか。	88.4 %	⑬	お子様は上級生や下級生といっしょに楽しく部活動に参加していますか	83.6 %	⑬	異年齢集団を意識した活動を通して、人とかかわり方について指導していますか。	82.9 %
⑭	あなたは、部活動にしっかり取り組んでいますか。	91.1 %	⑭	お子様は部活動にしっかり取り組んでいますか	87.9 %	⑭	活動への意欲を高め、達成感や成就感が持てるように指導していますか。	86.5 %
⑮	学校の様子を伝えていますか。	85.0 %	⑮	授業公開、懇談会、学校だより、HPなどで学校での生徒の様子がよくわかりますか	77.8 %	⑮	授業公開や懇談会の実施、学校だよりや学年だより、HPを通して生徒の様子を理解してもらうよう努めていますか。	91.2 %
⑯	学校は、危険なところがなく、安全に生活できますか。	88.3 %	⑯	学校の施設には危険な場所がないので、安心して学校に預けることができますか。	91.7 %	⑯	学校施設等の安全を点検し、常に改善を心がけていますか。	73.0 %

教育活動アンケート6月実施の結果と1月下旬実施の結果の分析と考察について

① あなたは、学習にしっかり取り組んでいますか。

生徒の「よくあてはまる」が若干増えたが、だいたいあてはまるを含めると6月同様80%である。保護者は「よくあてはまる」が減少したが、「だいたいあてはまる」を含めると若干向上している。生徒は学校での授業に関して答えているのに対し、保護者は授業を見る機会が少なく学校での様子がわからないため、家庭学習の様子から回答されたものと推察される。教職員の数値は6月（20%）から1月（40%弱）へとかなり向上していることから、生徒の授業の姿はかなり改善されたと思われる。

② あなたは、学校で仲間と協力できますか。

教師は「よくあてはまる」が20%から35%へ大きく伸び、「だいたいあてはまる」を含めると全体で10%伸びたことから、教師は成果を感じている。生徒も95%の高い数値を示している。しかし、保護者は教師が感じているほど満足度が上がっていない。ホームページや通信で学校の様子を今まで以上に伝えていきたい。

③ あなたは、何事にも最後までしっかりと取り組んでいますか。

生徒の89%、教師の95%が達成感を感じていると考えられるが、「よくあてはまる」を比較すると生徒・教職員ともに減少している。この結果から、だいたいできているが、最後までしっかりと取り組めていないと判断できる。保護者の数値が74%から70%へ減少した。学校で生徒の頑張る姿を保護者に評価していただけるよう、行事や学校公開により、多くの保護者の方に足を運んでいただき、生徒の頑張りを見て理解していただく機会を増やしていきたい。

④ あなたは、元気よく明るくあいさつができますか。

部活動の指導もあり、生徒の満足度の数値は82%から88%へ向上しているが、保護者と教職員は下がっている。それでも保護者80%、教職員90%の高い数値を示していることから、ほとんどの生徒が元気よく挨拶していると考えられる。数値としては減少したが学校生活で職員室での出入りや廊下ですれ違う時に挨拶できる生徒がまだまだ多いため、教職員からの評価が高い。教育ビジョンに掲げた「明るいあいさつ」の取り組みの成果と、日頃の家庭での躾において、挨拶の重要性を教えていただいている結果と推察される。

⑤ 先生は、勉強をわかりやすく、ていねいに教えてくれますか。

生徒・保護者の数値から、わかりやすく丁寧に教えてくれる教師もいるが、そうではない教師もいることが読み取れるが、教師の満足度は100%と高く、わかりやすい授業になるよう努力している。また、生徒は6月（79%）から1月（84%）と向上していることから、わかりやすく教えてくれていると感じている。今後も生徒の様子が家庭へ伝わるよう、ホームページや通信の改善を図っていきたい。

⑥ TTや少人数教育のときの授業はわかりやすいですか。

生徒は6月（75%）から1月（83%）へ向上しており、実感できていると思われる。また、教師の「よくあてはまる」が6月（25%）1月（38%）へ向上している。生徒・教職員の数値が上昇していることから、効果が出ていると評価してよいと考えられる。

⑦ あなたは、自然教室・職場体験・修学旅行などの学習に意欲的に取り組みましたか。

後期は大きな行事がないため、生徒・保護者の数値は6月とほぼ変わらないが、満足度は95%以上の高い数値を示している。教職員は「よくあてはまる」が6月（10%）から1月（20%）へと2倍に伸びていることから、年間を振り返り充実感を感じていると思われる。

⑧ あなたは、学校の成績はテストの点数だけでなく、学習活動全体で評価されていると思いますか。

学習の評価は、「テスト」の点数だけではなく、授業への関心・意欲、予習・復習、提出物の完成度、忘れもの等を総合して評価していることを数値の向上から生徒・保護者ともに理解できつつあると推察される。しかし、生徒の中には定期テストの点数だけで評価されていると考えている者も少なくない。毎日の授業が大切であることや、評価方法をあらかじめ伝えていく（単元の最初で提示）など、シラバスを活用した指導を行っていくことが重要である。

⑨ あなたは、学校行事や学級活動など学習以外の活動もしっかり取り組んでいますか。

生徒・保護者の「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」がともに約90%という高い数値を示しており、ホームページや通信等の広報活動の成果と思われる。また、クラブ活動や校外活動への一生懸命な取り組みから、生徒の意欲が育ってきていることもわかる。教師の「よくあてはまる」の数値が6月（10%）から1月（50%弱）への伸び率が高く、かなり成果が出てきている。今後も全員が最後までしっかりとやりきれるように仕組んでいくことが重要である。

⑩ 学級は、みんなが協力するまとまりのあるクラスになっていますか。

生徒・保護者・教職員の三者とも向上しており、クラスに好印象を持っている者が多いと思われる。特に「よくあてはまる」の数値が、生徒（20%→30%）、保護者（10%→18%）、教職員（7%→24%）へ向上している。2学期の行事を通した「仲間づくり」の成果と思われる。しかし、「あてはまらない」が生徒・保護者・教職員で約10%を占めており、いじめられているか、群れることができず、仲間に入れない者がいると推察される。この10%をいかに減らしていくかが課題である。

⑪ 先生は、相談にのってくれますか。

生徒（70%→76%）と向上しているのは、日頃から廊下等でのコミュニケーションから、生徒と教職員の距離を近く感じるようになり生徒が教職員をたよっていると思われる。自分のクラスの問題に気づき、教職員に相談してくる生徒が増えたが、自分たちで解決できない傾向にあることが課題である。また、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」が22%を占めているが、生徒にとっては、時間的に短いことや相談したい時に話ができなかったり、相談したが自分の思うような結果を得られなかったためと思われる。ホームページや通信で学校の様子を今まで以上に伝えていきたい。教職員の「よくあてはまる」は7%から52%まで急激に伸びている。全体では数%の伸びであるので、教職員が生徒たちの相談によく乗っている様子が伺える。

⑫ あなたは、道徳の時間や人権学習の授業にしっかりと取り組んでいますか。

教育ビジョンの柱のひとつとして取り組んでいる「道徳・人権学習」を、昨年度に引き続き各学年で統一した指導を行っている。生徒の満足度は6月とあまり変化はないが、「よくあてはまる」が20%から30%まで向上したことが成果である。保護者の満足度に変化がないのは、学校での様子を学級・学年・学校通信やホームページ等で発信しているが、授業や学校の様子が伝わっていないと推察される。教職員の「よくあてはまる」が5%から30%へ向上し、「だいたいあてはまる」を入れると6月（55%）から1月（89%）まで伸び、成果を実感している。しかし数%「あてはまらない」と回答されているため、今後も引き続き指導に力をいれていきたい。

⑬ あなたは、先輩や後輩と楽しく部活動に参加していますか。

生徒は「よくあてはまる」50%、「だいたいあてはまる」を入れると90%近くの生徒が異年齢集団活動に満足していると思われる。比較的に上級生、下級生が上下関係なくうまくやっていることがわかる。しかし、保護者の満足度は6月と変化がないものの、「よくあてはまる」は52%から33%へ下降している。クラブ見学等を通して理解に努めていきたい。教職員の「よくあてはまる」が10%から88%まで伸びたことから、生徒たちの頑張りが実感できたものと思われる。部活動を継続していく中で、上級生には下級生の手本となり、下級生が上級生に憧れをいただくような関係となるよう、指導を継続していくことが大切である。

⑭ あなたは、部活動にしっかりと取り組んでいますか。

生徒の「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」は前回より若干向上した数値であるが、「よくあてはまる」だけを比較すると40%から55%まで向上している。半分以上の生徒が「よくあてはまる」と答えている。保護者も40%から50%へ向上した。6月の調査では、生徒・保護者の満足度は80%強であったが、今回の調査では90%前後まで伸びている。夏休み等の長期休業日、土日等の部活動から、保護者が生徒の様子を把握することができたため、数値が向上したと思われる。しかし、学年が上がるにつれ、数値が低下している。上級生が部活内でリーダーとなり責任感を養ったり、最終的に達成感を持てる部活動となるよう、学校全体で部活動を活性化していく方策を考え実践していきたい。

⑮ 学校の様子を伝えていますか。

「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の数値が、生徒と教職員は向上しているが、保護者は下降している。「よくあてはまる」の割合を見ると、1年生では（45%→32%）、2年生（29%→29%）、3年生（27%→33%）であった。今回3年生で上がったのは、進路決定に向けた話し合いが家庭で持たれたためと推察される。今後、学校の様子が正しく伝わるよう、ホームページや学級・学年、学校通信の充実を図っていくことが大切である。

⑯ 学校は、危険なところがなく、安全に生活できますか。

「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した生徒は、6月（83%）→1月（88%）、保護者は、6月（91%）⇒（92%）と若干向上し、高い水準を維持している。教職員は、6月（76%）→1月（73%）へ下降しているが、校舎の老朽化に伴い、より安全な設備を願う点からこのような数値になっている。「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した生徒・保護者・教職員がいるので、安全でない箇所を改善していくことが必要である。

